

# ブダペスト通信

盛田 常夫



2025 年 No. 32 (9 月 19 日)

激化するネット空間の争い



9 月 3 日の戦勝記念式典に欧州から参加したスロヴァキア首相フィツォとハンガリー対外経済外務大臣スィーヤルトー（最後列右がスィーヤルトー、その前がフィツォ）

中国の対日戦勝記念式典に、欧州から参加したのは、スロヴァキアとハンガリーだけ。2国ともプーチンと習近平に忖度してのことだが、集合写真を見ると、スロヴァキア首相とハンガリー外相の居場所がないようだ。フィツォはこの後、帳尻を合わせるためにウクライナを訪問し、ゼレンスキー大統領と会談している。これにたいして、スィーヤルトーはロシアと合同軍事演習直前のベラルーシを訪問している。ハンガリーオルバン政権のロシアへの忖度は尋常でない。

オルバン首相は記者から「独裁者が集合しているところにハンガリーの外相が加わっているのはどうしてか」という質問に、「私が行く場所ではないので、代わりに外務大臣が言ってくれた」と弁明している。あまりに醜いことになるかと察してのことだろうが、オルバン首相にはふさわしい集まりだったが、最前列で行進することはできなかつたろうし、もしそうなれば世界の笑い者になったからだろう。一応、「我々は負けた方だから」と付け加えていたが。

### ファイティングクラブの初合宿

先週末に、Fideszのいわゆる「ファイティングクラブ」の合宿セミナーがあった。参加者の多くが年金生活者で、無料の食事をいただけるから参加したような人が多かった。オルバン首相やラーザール大臣の総選挙勝利の激を受ける集まりだったが、オルバン首相が番外の寸劇を行った。宿舎のベランダで「ダニ掃除」をするしぐさを見せ、模範を示したのだ。



ファイティングクラブ合宿で、階下の支持者に「ダニ掃除」を見せているオルバン

今年の 3 月 15 日の革命記念日で、オルバン・ヴィクトルは「春の大掃除でダニを退治する」と反政府派の動きの一掃を宣言したのだが、「ハンガリー版プーチン令」を撤回し、政府が禁止したプライド行進は 20 万を超える人々が参加した。これで「ダニ掃除」が滞ってしまった。

そこから、オルバン・ヴィクトルは直々にファイティングクラブ結成の集会を開き、さらにはデジタル市民サークルを結成して、反政府系のメディアに対抗しようとしたのである。しかし、これも今一、上手くいっていない。確かに、金に飽かせて、マジタル・ピーテルを批判する動画を次々にネット空間に発しているが、あまりに短絡的で、ウィットが効いていない。オルバンの「ダニ掃除」など、あまりに幼稚で見えていられない。逆に、即座に、それをオチョクル歌がネットにアップロードされる始末だ。オルバン・ヴィクトルは熱狂的支持者だけを相手にしているので、世の中の速い動きに付いていけない。

反 Fidesz の潮流は幅が広く、多くのインフルエンサーが自発的に動画を制作してネット空間に発信している。こちらの方がはるかに影響力をもっている。「ダーティ Fidesz」はこの夏の若者たちのスローガンになり、いくつもの歌が出来上がっている。最近になってアップロードされたビデオの一つは次のようなものである。これは 9 月に制作された仮想空間のビデオである。



「汚い奴ら」( <https://www.youtube.com/watch?v=7Pg-fbuUnHk> ) のオープニング画面

字幕の自動翻訳を利用して、日本語字幕を出すこともできるが、念のために、この動画クリップの歌詞の日本語は以下の通りである。

### **Mocskos Fidesz! MathiasX**

Mocskos Fidesz! Mocskos Fidesz!

Mocskos Fidesz! Mocskos Fidesz!

Ez a mi hazánk, nem jacht, nem villa.

Nem üres stadion, nem kamu dráma.

Hatvanpuszta kastély lopott világ,

De a nép hangja üvölt: „Mutasd a pofád!”

Ez a mi hazánk, nem a tolvajé,

Röfögj csak bátran, míg a ganéj a szádig ér!

Hej-hej-olé-olé, húzz a csába, a 'csába.

Mocskos Fidesz! Mocskos Fidesz!

Mocskos Fidesz! Mocskos Fidesz!

Ők zabálnak lovét, aranyból a WC.

Mi meg gürüzünk, hogy hülyítsen a TV.

Mutyi a zsebben, hazug a plakát.

De az utca visszaordít: „Mutasd a pofád!”

Ez a mi hazánk, nem a tolvajé.

Röfögj csak bátran, míg a ganéj a szádig ér!

Hej-hej-olé-olé, húzz a csába, a 'csába!

Mocskos Fidesz! Mocskos Fidesz!

Mocskos Fidesz! Mocskos Fidesz!

Ez a mi hazánk, nem a „király” pálya.

A Király bömböl: „Húzzatok a csába!”

Mutyi a zsebben, hazug a plakát.

De az utca visszaordít: „Mutasd a pofád!”

Ez a mi hazánk, nem a tolvajé.

Röfögj csak .....

Hej-hej-.....

Hej-hej-olé.....

### **汚い Fidesz! Mathias X**

汚いフィデス！汚いフィデス！

汚いフィデス！汚いフィデス！

ここは我々の祖国、ヨットでも別荘でもない

空っぽのスタジアムでも偽りのドラマでもない

ハトヴァンプスタ城は盗まれた世界

民衆の声が叫ぶ：「お前の顔を見せろ！」

ここは私たちの祖国だ、泥棒のものではない

口いっぱい糞を詰め込んで思い切り吠えろ！

ヘイヘイオレオレ、引っ張って、引っ張って

汚いフィデス！汚いフィデス！

汚いフィデス！汚いフィデス！

奴らは馬を食い尽くしトイレは金でできている

我々はテレビに騙されるために働いている

ポケットには汚職、ポスターは嘘

しかし、街は叫ぶ：「顔を見せろ！」

ここは我々の祖国だ、泥棒のものではない

糞が口まで届くまで、勇ましく鳴き続けろ！

ヘイヘイオレオレ、引っ張れ、引っ張れ！

汚いフィデス！汚いフィデス！

汚いフィデス！汚いフィデス！

これは私たちの祖国だ、「王様」の庭じゃない

王様は「引っ張れ！」と叫ぶ

ポケットには汚職、ポスターには嘘

しかし、街は叫ぶ：「お前の顔を見せろ！」

ここは我々の祖国だ、泥棒のものではない

さあ、嘶け……

ヘイヘイ…… ヘイヘイオーレ……

次の動画は数日前にアップロードされたものだ。オルバン・ヴィクトルの幼稚な

「ダニ退治」を茶化したもので、「ダニ行進曲」を名付けられている。

## ダニ行進曲

ダニは越冬し、  
ベランダを覆い尽くした  
ヴィクトルは箒を手に取り  
すべてのダニを掃こうとして  
でも、ダニはさらに増えた  
箒は役に立たなかった  
ダニはみな、ヴィクトルに飛びつき  
彼は恐怖で逃げ出した  
遠くへ走り去り  
その姿は見えなくなった  
本にはそう書かれている  
ダニに追い払われたと  
走れ、ヴィクトル、遠くへ逃げろ！  
もう二度と我々の前に現れるな！  
お前の破壊は終わりだ  
ダニの群れに打ち負かされたのだ

ダニたちは越冬した  
ダニたちは越冬した  
ベランダを覆い尽くした  
ヴィクトルは箒を手に取り  
すべてのダニを掃こうとした  
でも、ダニはさらに増えた  
箒は役に立たなかった  
ダニはみな、ヴィクトルに飛びつき  
彼は恐怖で逃げ出した  
遠くへ走り去り  
その姿は見えなくなった  
本にはそう書かれていた、  
ダニに追い払われたと  
走れ、ヴィクトル、遠くへ逃げろ！  
もう二度と我々の前に現れるな！  
お前の破壊は終わりだ  
ダニの群れに打ち負かされたのだ  
ダニは越冬した



「ダニ行進曲」 ([https://www.youtube.com/watch?v=V9fpe\\_3OypM](https://www.youtube.com/watch?v=V9fpe_3OypM))

ダニ退治をしようとしたのに、却って多くのダニがオルバンに憑りつき、オルバンが逃げる様子を茶化したものだ。

オルバン・ヴィクトルはティサの累進課税政策を叩くために、公金を使って、10月に「国民コンサルテーション」を実施すると宣言した。ティサが権力を握れば、所得が三分の二になってしまうと声高に叫んでいる。わずかな投資で半国営企業の所有権を取得し、巨額の配当を得ている連中には所得の激減になるだろうが、ほとんどの中所得者には中立的なものである。しかし、Fidesz は公金を使って、所得が三分の二になってしまうという政治広告をネット空間に出している。ティサ党攻撃のために、巨額の公金を使って、「国民コンサルテーション」という政党宣伝を行うのである。そんなお金があるなら、多くの人々は病院や学校の施設改善に向けたら良いと考えている。ところが、宣伝こそ権力維持のための必須の手段と考えている Fidesz 政府は、政権維持のために年間で少なくとも 4-500 億円規模の宣伝費をつかっている。もちろん、宣伝広告のほとんど外注されるが、これも政権に近い企業が独占受注している。15 年続いた政権は腐りにくさっている。「若者の民主同盟」だったはずの Fidesz は、長期政権で「老人の利権集団」に成り下がる末期症状を呈している。